学校番号	328

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　書道Ⅰ　（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次は書道の基礎的技術や知識を学んでもらいます。全くの一から教えますので、ほとんど書道に携わったことがない生徒でも大丈夫です。小学校や中学校で学んだ書写とは大きく違います。時間的には少し急き立てられる感じはありますが、それを処理することにより、短期間でかなりの技量を身に付けることができます。欠席や遅刻をせず、真面目に取り組めば、かなり高い書的能力を身に付けられるでしょう。

2　学習の到達目標

短時間で多くの作業をこなし、基本的な用筆法や文字造形の原理原則を知る。筆で文字を書くことへの抵抗感をなくし、自分なりの新しい何かを生み出す喜びを知る。書道の歴史を知り、文化や技術、知識、風習等は多国間で影響を与えあっていることを知る。当然、これらの目標を達成するためには高いレベルの思考力と主体性が必要であり、更にそれらを伸ばし自身の芸術的素養を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書表現をするための基礎的な技術やその多様性を理解する。また、正確な筆の動きを習得し、それを適切に表現しようと努めているか、また、それを生かした表現ができているかを自分自身でも理解し活用しようと努めているか否かを重視する。	書道の奥深さや面白さを感得し、自らの感性を養い、またそれを活用しつつ作品の制作に生かそうと工夫し、書道の美を味わい深く捉えている。また作り出す作品に、授業で伝えた用筆法や結体を踏まえた表現に富んだ思考性豊かな作品を仕上げようと創意工夫しているかを重視する。	作品制作に関し、自ら積極的に創意工夫し取り組んでいる。また、書道の歴史についても積極的に理解、習得しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	楷書の学習	・用具、用材の使用方法について ・造形方法の基礎を知る ・書体の変遷 ・徹底した縦画、横画の習得	a:積極的に授業を聞き、能動的に上達しようとする姿勢が見える。 b:文字造形の基礎的な捉え方を理解し、再現しようとしている。また、書写との相違を理解し、表現しようとしている。 c:基礎的な技法を積極的に習得しようと積極的な努力をしている。	提出作品	提出作品	答えを配布してある小テストや任意のレポート 授業観察
	楷書の学習の発展	・複雑な文字の造形の理解と表現 ・払い、転折の用筆法の理解と習得	a:書道の歴史を知る。 b:複雑な点画の組み合わせを理解し文字のバランスを取る。 c:筆の動きに着目し、それを理解、習得した上で、自分なりの表現をしようとしている。	提出作品	提出作品	答えを配布してある小テストや任意のレポート 授業観察
2	行書と仮名等の学習	・行書の用筆法の理解と習得 ・連続する点画の構成の理解 ・造形的省略の美への理解 ・行書の技法を踏まえた上で仮名の技法を理解、習得する。その上で漢字仮名混じり文の表現を理解する。	a:行書に関心を持ち、漢字の変遷に興味を示す。 b:楷書とは異質な用筆法や構成法を理解、表現する。 c:行書や仮名特有の技術を習得しようと努力する。	提出作品	提出作品	答えを配布してある小テストや任意のレポート 授業観察
	行書の学習の発展	・横巻の制作準備を通し、より高度な行書の技法を習得する	a:継続的な授業を通し、長期間にわたる制作をこなす集中力を養う。 b:長期を見通す構想力を身に付ける。 c:一定エリアに均一に文字を書き連ねる技術を習得する。また、テストによる書道知識を確認。	提出作品	提出作品	答えを配布してある小テストや任意のレポート 授業観察

3	横巻の制作と完成	・横巻の完成	a:より高いレベルで作品を完成させようとする真摯な態度を養う。均一な中に変化を表現する技能や表現法を習得する。 b:行書の多様な表現技術や造形法を習得し、行書の歴史的価値を理解する。 c:横巻レポートの提出により、書道に関する意識の変化を判断する。	提出作品	提出作品	レポート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度